

第5学年 道徳学習指導案

平成31年1月18日(金) 第5校時
5年2組 男子16名 女子10名
授業者 小谷野 裕太

- 1 主題名 自分の特徴を見つめて 内容項目 【A 個性の伸長】
- 2 本時のねらい 自身の良さを伸ばすことについて教材の人物の生き方を考え、話し合う活動を通して、自分の長所を大切にし、よりよく伸ばそうとする態度を育てる。
教材名 感動したこと、それがぼくの作品～パブロ・ピカソ (出典「新しい道徳5」東京書籍)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

本主題は、第5学年及び第6学年の内容項目 A 個性の伸長「自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばす」ことをねらいとしている。

個性とは、個人特有の性格や特徴である。人は誰でもその人ならではのよさを持っている。そのよさを個性として伸ばしていくことは、将来にわたって自己実現を果たせるようにするためにも重要である。自分の長所を理解し、更に積極的に伸ばそうとする態度を育てたい。

指導に当たっては、長所も短所もその人の個性であることとしてとらえた上で、長所に目を向け、信じて伸ばしていくことが「個性を伸ばす」ことであると考えられるようにしていく。自分の長所を積極的に伸ばすことで自己を向上させることや自信に繋がっていくことを指導することが必要である。

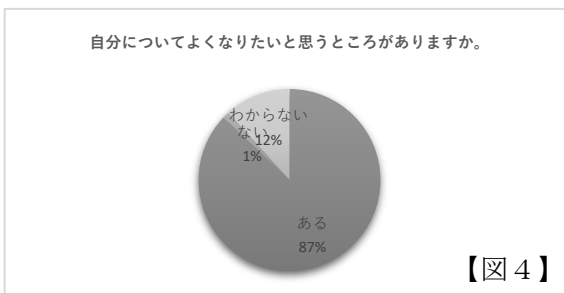
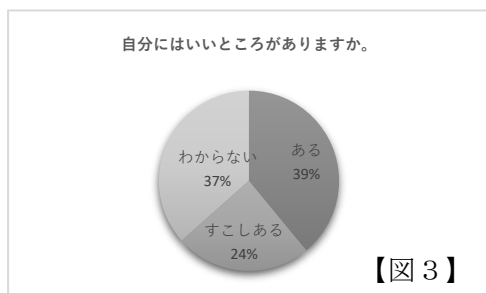
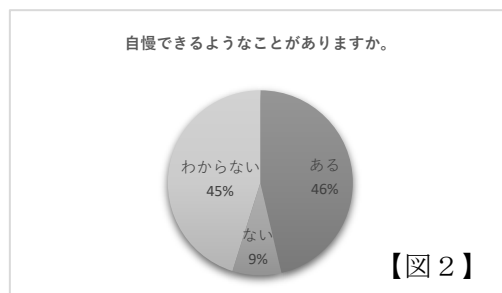
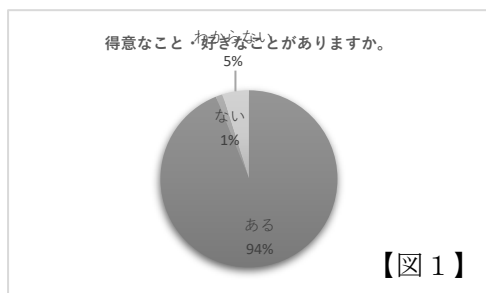
(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、4月に自己紹介、9月には自分の良いところを書く活動、10月には「心の鏡アンケート」など、これまで自分の長所を考える機会が多くあったものの「個性」について深く考える機会はなかった。

良いところを書く活動では、多くの児童が自分の長所に自信が持てず、周りの友達に確認している姿が目立ったが、最後には全員が納得のいく自分の長所を書くことができた。10月の「心の鏡 アンケート」では、「得意なことや好きなことがある」【図1】と答えた児童が大多数であったが、「自慢できるようなことがある」【図2】「自分にはいいところがある」【図3】と答えた児童は学級の半分以下であった。また、「自分についてよくなりたいと思うところがある」【図4】と答えた児童も23人と多数いた。以上のことより、「熱中できるものはあるものの、長所として自信がない。また、自己の短所も理解し、改善したい。」と考える児童が多数いると考えている。

学級内では、児童同士が認め合い、互いに自信を持てるように、各教科の中でグループで意見を交流させたり、話し合ったりする場を設定している。また、毎月自分の目標を立てさせ達成させるようにしたり、行事ごとに目標を持ち、振り返りをしたりしてできるようになったことに目を向けることを指導している。

心の鏡 アンケート 結果



(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、パブロ・ピカソの伝記による。天才のイメージと独自の作品が有名だが、地道に努力して自分の才能を開花させたこと、自分の信念を曲げないところ、独自の作風の裏に、絵画の基礎基本はしっかり学んでいたことを押さえない。そのうえで、たとえ作品が理解されなくても迎合することなく、「芸術とは思いを形にすることである。」という信念を貫いたピカソの強さに学ぶところがある。そして、自分のしたいことだけをするわがままではなく、自分を信じて生きるピカソの姿勢こそが、自分にもできる個性を伸ばすことなのだという事に気づくようにしたい。

本学級の児童の実態を受け、主に次の場面を中心に話し合うこととする。

- ① 宮廷画家になれる才能があったにも関わらず「人に描かされる絵はもういやだ!」と、パリへ行ったこと。
- ② 「僕にとって感動したこと、それが作品なんだ。」と、きっぱりと言ったところ。

この2つの場面を通して、ピカソが自分の個性をいかに大切にしたいのかが、本時の問題の答えになることをおさえ、ねらいとする道徳的価値の理解を図る

以上の理由から本時の教材を設定した。

4 研究主題との関わり

研究主題	自己肯定感を高める道徳教育～授業づくりを通して～
------	--------------------------

【仮説】

本時の道徳的価値に関する学習問題を設定し、話し合いによって考えを深めたり、自己を見つめたりして、価値に迫ることができれば、自分の長所を大切に、よりよく伸ばそうとする心情が生まれ、自己肯定感を高めることができるだろう。

【手立て】

本時では、道徳的価値へより深く迫るために、問題解決が中心の学習を展開する。「『個性を伸ばす』にはどうしたらいいでしょう。」という問題で本時の学習を行う。

ピカソの生き方を通して、どうすることが「個性を伸ばす」ことに繋がるのかと、友達同士で話し合うことにより、多角的に考えを深めていく。基本を身に付けたうえで、自分自身のよさをひたむきに信じ続けることが個性を伸ばすこと、そして自己肯定感を高めていくと考えさせる。

得意なことをスモールステップでも伸ばせるよう、月目標や自主学習帳を活用して、得意なことにとり組めたのか、可視化できるようにする。また、他教科でも一人一人の得意をいかせる場面を意図的に設定し、友達同士で称賛できる場を増やす。

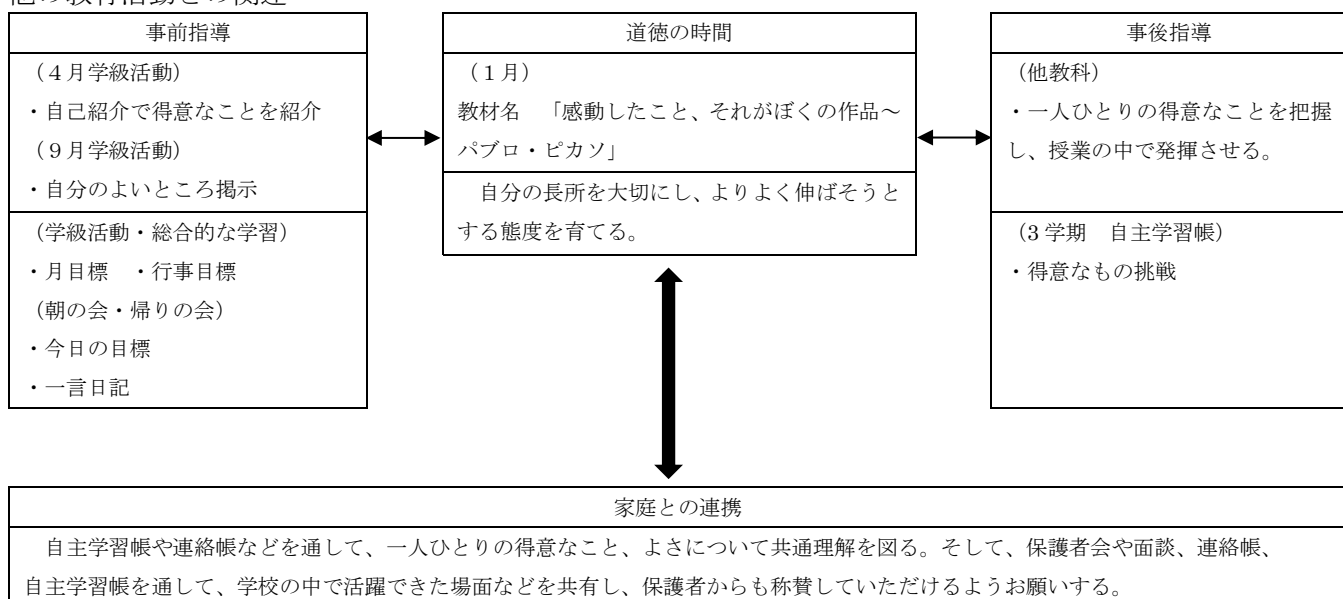
5 学習指導過程

(1) 展開

	学習活動・主な発問	予想される児童の反応	※指導上の留意点 ☆評価の観点	
導 入	1 学習問題を設定する。 ○心の鏡アンケートの結果から、得意なことが、なぜ自慢やいいところに繋がっていかないのか考える。 ・得意なこと・好きなことがあるのに、いいところにならないのは何でだろう。	・好きでも、できなくて自信が持てない。 ・得意だけとくならない。 ・みんなに認めてもらえないかも。	※アンケートの円グラフ提示。 ※得意なこと・好きなことが「個性」に繋がることを確認し、「個性」を掲示 ※ねらいとする価値への方向付けをする。 ※ピカソの写真を掲示	5
	問題 「個性をのばす」にはどうしたらいいでしょう。 ○ピカソについて知っていることを出し合い、紹介を聞く。	ピカソは有名な画家。 個性的な絵を描いた。しかし学生時代に基礎・基本を学ぶ。 宮廷画家になれたけど、断ってならなかった。 世界的に認められている。	※ピカソの作品を見せる。	2

展開	2 教材の読み聞かせを聞く。			5
	3 内容について話し合う。 ○ピカソの個性が感じられるところはどこ？	<ul style="list-style-type: none"> ・小さいころから絵が上手。 ・「人に描かされる絵はもういやだ！」 ・「僕にとって感動したこと、それが作品なんだ。」きっぱりと言ったところ。 ・毎日絵をかく。 ・気持ちを絵にする。 ・絵で表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ※ピカソの台詞から、互いの意見を聞きたくなる発問を入れる。 ※「個性」を形成する「長所」と「短所」について考えさせる。 	5
	○「わがまま」と「個性」あるいは「長所」と「短所」って何が違うのかな？ 1、個人で考える。 2、グループで話し合い。 3、クラスで話し合い。	<ul style="list-style-type: none"> ・短所も見方によっては長所にも変わるのかもしれない。 ・自分を信じた行動なら、個性になる。 ・他人に迷惑をかけなければ、個性。 	<ul style="list-style-type: none"> ※個人… 1分 ※グループ… 3分 ※クラス… 5分 	1 3 5
	◎ピカソが個性を伸ばすために大切にしたいと思うってなんだろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを大切にすること ・絵が好きということ ・自分を信じ続ける ・自分のやりたいようにやるところ ・自分のやり方を見つける 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ピカソの考えに共感し、話し合っている。【多面・多角】 	7
	4 学習問題に対する自分なりの答えを持ち、自己を見つめる。 ○あなたの個性ってなんですか。どうのばしていきたいですか。 ・クラスで意見交流	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の得意なことを信じること。 ・やり続けること ・短所も長所にしていくことができそう。 	<ul style="list-style-type: none"> ※ここでワークシート配布 ※書く… 5分 ☆これまでの自分を振り返りながら、自分の個性について気付いたり、生き方について考えたりしている。【自分との関わり】 	5 5
終末	5 教師の説話を聞く。 ・教師の説話		※学級の個性を伝えて終わらせる。	2

6 他の教育活動との関連



7 評価の視点

【物事を多面的・多角的にみている様子】

☆ピカソの生き方に触れ、どのようなことを大切にしていたか考え、話し合っている。

【道徳的価値への理解を自分との関わりで深めている様子】

☆自分のよさに気づき、その良さをどのような心持ちで生活にいかすか考えている。

8 板書計画

